

**営 業 支 援 事 業**  
**(営業支援事業会計)**  
**(スタートアップ応援事業会計)**  
**(地場企業支援事業会計)**

**1. 中小企業営業力強化総合支援事業**

**【事業の目的】**

県内企業の事業拡大を営業面から支援するため、発注意欲のある県外企業を発掘・訪問し、収集した発注情報を県内企業へ紹介斡旋するほか、県外企業を招いての商談会の開催や、県内企業に同行しての県外企業への営業訪問活動等により、営業力に乏しい地場中小製造業の取引先の拡大・販路開拓を促進する。

**【評価指標・実績】**

県外を中心とする中堅・大手企業等の発注情報を県内企業へ紹介斡旋したことによる取引成約状況（初回取引分のみ）  
 ※県内での波及のための県内企業同士のマッチング取引成約も含む

業務指標	平成24年度 実績値	平成25年度		
		目標値	実績値	達成率
新規成約件数	65件	80件	88件	110%
新規成約金額	201,913千円	220,000千円	222,308千円	101%

平成25年度 取引成約の内訳	新規成約件数	新規成約金額
県内企業同士の取引マッチング成約 (うち同行訪問等による新規取引)	25件 (6件)	37,120千円 (5,570千円)
県外企業との取引マッチング成約	63件	185,188千円
通常の取引マッチングでの成約	27件	98,412千円
発注企業への同行訪問での成約 (県外発注企業51社へ県内企業15社と同行)	9件	33,540千円
マッチングフェアでの成約 (うち過去開催分)	18件 (4件)	13,586千円 (5,200千円)
個別スポット商談会9社招聘での成約 (うち過去招聘分)	9件 (4件)	39,650千円 (11,050千円)
合 計	88件	222,308千円

【事業の実施状況】

○平成25年度事業費

68,325千円

(ビジネスマッチングにかかる人件費

47,618千円)

施策項目	平成25年度実施内容
<p>下請企業振興事業 (受発注情報等収集提供事業) (5,191千円)</p>	<p>① 財団職員による発注企業訪問 延べ456社(県内発注企業延べ19社) ② 財団職員による県内企業訪問 延べ2,364社 ③ 長崎企業ガイドブック製作:1,000部 ④ 財団ホームページを活用した情報提供</p>
<p>地場企業取引拡大支援事業 (6,151千円)</p>	<p>① ビジネスマッチングフェア 県外企業を一堂に招き、県内企業との取引商談会を年2回開催 ・7月 佐世保市 (県外企業20社招聘、県内企業57社参加) ・2月 長崎市 (県外企業23社招聘、県内企業51社参加) ② スポット商談会 県外企業の調達担当者を個別に招き、県内企業との新規取引商談や工場視察等を実施 (県外企業9社招聘、県内企業43社訪問) ③ 県外での商談会 九州各県の支援機関と合同で商談会を開催 ・8月 福岡市(福岡・熊本・長崎) (発注企業18社、県内企業11社) ・10月 久留米市(福岡・佐賀・長崎) (発注企業28社、県内企業4社参加) ・11月 大阪府(九州7県) (発注企業51社、県内企業20社参加)</p>
<p>I S O 認証取得支援事業 (2,018千円)</p>	<p>I S O 9001/14001 認証維持のための内部監査員養成研修会を、長崎市・佐世保市・諫早市にて延べ5回開催(県内企業延べ35社、83名参加)</p>

<p>元気なものづくり企業 成長応援事業 (1,452千円)</p>	<p>県主催で開催された、「長崎県ものづくりテクノフェア」と併催してビジネスマッチングフェア in 大村を開催し中堅企業等の受注機会拡大を探る場とした。 (県外企業16社、県内企業35社参加)</p>
--------------------------------------------	----------------------------------------------------------------------------------------------------------

### 【事業の成果】

- 平成25年度は、県内企業が得意とする県外のプラント機器関連メーカーを中心に発注開拓訪問を実施し、マッチングフェアへの参加促進やスポットでの個別招聘などを図り、受注機会の拡大に努めた。
  - ・上期においては、半導体関連メーカーの旺盛な発注ニーズも加わり、取引成約も順調に推移した。
  - ・下期に入り、県内大手企業の発注量の増加や消費増税前のかけこみ発注などにより、地場企業の受注余力が急激に減少したため、引合いは多いが見積もりができない状況が発生し、取引マッチングの機会も減少した。
  - ・そのような中、過去に開催した商談会等のフォローや、発注案件の紹介を通じ、比較的工期の長いプラント関連の取引が成約し、当初の成約目標額を達成できた。
  
- 26年度も、県内での塵芥処理場やメガソーラー建設が進んでおり、地元で受注可能な物件については、九州域内での他の大型事業関連も含め、それらに関わるプラントメーカーに対し県内企業を積極的にPRしていく。
 

また、これまでに実施した取引紹介斡旋のフォローに努め、商談成約につなげるとともに、県内企業が受注可能な案件の新規発掘に向け、ターゲットを定めた効果的な発注案件の開拓を実施していく。

## 2. 「ナガサキ型新産業創造ファンド」活用助成事業

### 【事業の目的】

将来の成長が期待できるモノづくり分野において、県内中小企業者等が行う経営の革新や創業を支援する。

## 【事業の実施状況】

○平成25年度事業費 39,625千円  
(うち事務局経費等 7,849千円)

### ＜企業への助成実績＞

・事業化等調査事業	1件	3,000千円
・技術応用開発支援事業	0件	0千円
・商品化研究・開発支援事業	3件	8,699千円
・見本市出展支援事業	9件	14,812千円
企業への助成採択額	計 13件	26,511千円

### ＜財団自主事業＞

・テストマーケティング支援事業 5,264千円  
出展料が高額な全国規模の展示会に、財団が一括でブースを借り上げ、県内企業の優れた自社技術等のPRによる新規顧客開拓の支援を実施。(出展企業数7社)

## ○平成25年度採択の状況

事業名	申請件数	採択件数	採択額
事業化等調査事業	3件	3件	6,858千円
技術応用開発支援事業	9件	6件	19,112千円
商品化研究・開発支援事業	2件	1件	2,098千円
見本市出展支援事業	15件	15件	20,828千円
合計	29件	25件	48,896千円

※事業が数年度にまたがる場合があるため、助成実績と採択額は一致しない。

## 【事業の成果】

- 平成25年度は、これまで申請条件であった「重点5分野」の廃止と、製造業の研究開発の初期を支援する「技術応用開発支援事業」のメニュー新設により、計画どおりの申請があった。
  - ・見本市出展支援事業は、利用企業が多く、県内企業の販路開拓の一助となっている。
  - ・商品化研究・開発については申請件数が伸び悩んでいる。

- 当初から70億円のファンドを造成し、運用益により助成事業を行ってきたが、国から全国的なファンド規模の見直しが提起された。国と県とで協議を重ねた結果、運用している国債の売却益も事業の財源として活用することが可能となったことから、25年度末に基金元本30億円と運用益の一部を自主的に繰上げ償還した。

### 3. 「長崎県地場企業支援ファンド」活用助成事業

#### 【事業の目的】

優れた技術を活かし、更なる事業拡大、新分野進出・新技術導入などを行う製造業、情報通信業を営む県内中小企業者等を支援する。

#### 【事業の実施状況】

○平成25年度事業費 43,777千円  
 (うち人件費等事務局経費 15,329千円)

#### <企業への助成実績>

・中核人材確保事業	3件	4,307千円
・技術等研修事業	1件	400千円
・設備投資支援事業	8件	23,741千円
企業への助成採択額 計	12件	28,448千円

#### ○平成25年度採択の状況

事業名	申請件数	採択件数	採択額
中核人材確保事業	0件	0件	
技術等研修事業	0件	0件	
設備投資支援事業	12件	12件	45,493千円
合計	12件	12件	45,493千円

※事業が数年度にまたがる場合があるため、助成実績と採択額が一致しない。

#### 【事業の成果】

- 平成25年度に採択した設備投資支援事業12件は、最新鋭の

工作機械・装置等の導入と工場増設に活用されており、生産能力の拡大や加工技術の高度化が図られ、売上増加と生産性向上による収益改善が期待できる。